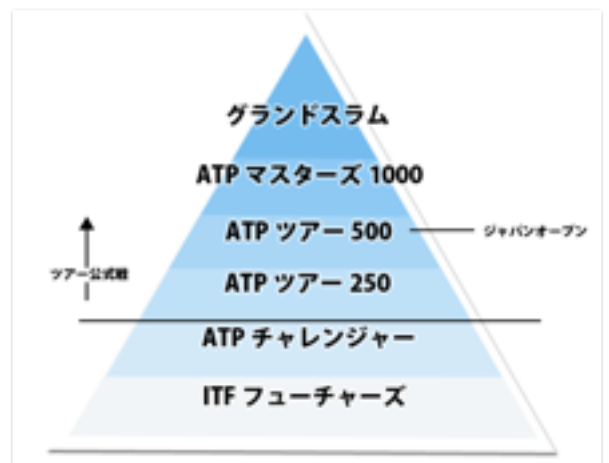




「ジュニア遠征帯同レポート①」

今回は未来のスター選手を目指して活動するジュニアプレーヤーの活動についてレポートいたします。ジュニアのテニストーナメントは様々ありますが、初回は国際大会に絞ってお話します。

まず、プロの世界から・・・錦織選手が活躍する男子プロツアー（ATPツアー）の仕組みは右図のようになっており、グランドスラム4大会を頂点にグレードが分かれています。上に行くほどランキングに影響するポイントが大きく、賞金も高くなります。



ジュニアの国際大会

国際テニス連盟（ITF）にはジュニアの部門があり、主に6つのグレードに分かれています。

グレード	内容	日本の大会
グレードA (GA)	グランドスラム4大会を含む9大会	・ワールドスーパージュニア（大阪）
グレード1～5 (G1～5)	GAの下に5つのグレードの大会があります。	・ITF埼玉国際（G4） ・ITF兵庫国際①（G4） ・ITF兵庫国際②（G4） ・ジャパンオープンジュニア（G2） ・ITF山梨国際（G5）

ジュニアの世界にはグランドスラムと同等のレベルの大会が5つあり、その1つが大阪で開催される「大阪市長杯World Super Junior」です。

遠征中の活動

今回はスーパージュニア（GA）とジャパンオープンジュニア（G2）の帯同で国内2カ所の遠征となりますが、遠征中は練習、トレーニング、試合の繰り返しになります。



中でもやはり試合が一番の練習になります。試合の中でしか得られないものがたくさんあるからです。試合の中でチャレンジするために日々の練習や遠征中の厳しい練習やトレーニングがあります。

また、試合会場ではレベルの高い選手がたくさん集まるので普段では得られない刺激を受けることができます。

今回の遠征の結果&経過

・ワールドスーパージュニア（GA）

シングルス1R

住澤大輔 ●7-6、2-6、3-6 第8シード

ダブルス1R

住澤/野口 ●6-7、2-6 第1シード



初のGAチャレンジはどちらもシード選手に競ったものの惜しくも敗退。どちらも世界ランキング50位を切る選手に引けを取らないプレーをできたことは大きな収穫でした。

・ジャパンオープンジュニア（G2）

シングルス1R

住澤大輔 ○6-2、6-2

1Rを良い内容で勝利。明日2Rを第7シードの選手と対戦します。



10月20日（火） 豊田